

# あじけん通信

株式会社きぼう国際外語学院  
企画・編集 澁谷 健司



ベトナム人実習生による春巻き。綺麗な盛り付けは人参とトマトで作られています。

2月17日(土)、毎年恒例となった中国の「春節」・ベトナムの「テト」を祝う新年会が行なわれました！  
今年、実習生の皆さんの手作り料理と、お餅つきの他に、地域の小学生達による「和太鼓演奏」が加わりました。実習生の皆さんは、初めて見る日本の伝統文化の迫力に感動し、一生懸命演奏してくれたちびっ子達に、惜しみない拍手を送っていました。また、小学生や保護者の方々が来校したことで、地域の日本人と技能実習生との接点生まれ、お互いの立場や文化について、理解を深め合う好機ともなりました。

## あけましておめでとうございます！



ベトナム人実習生の皆さんによるベトナム風揚げ春巻き

大鍋で熱々の水餃子を振舞った中国人実習生の皆さん！



のど自慢に参加した本校スタッフ

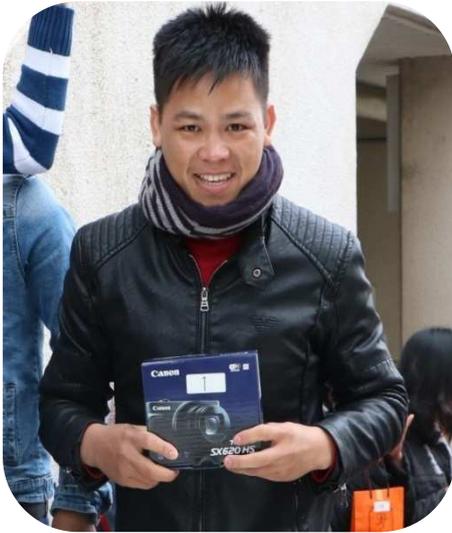


小学生による和太鼓の演奏



弾き語りを披露するタイ人実習生

## 今月の実習生



今月の実習生は、旧正月を祝う会のお年玉福引で、見事に1等賞のデジタルカメラをゲットしたラッキーボーイ、ベトナム人実習生 NGUYEN TRONG HUNG (フンさん) です。フンさん、おめでとうございます。フンさんの1年が、良い年でありますように！！

2月17日センターでテトのパーティーがありました。ここで人が多かったです。中国人、フィリピン人、タイ人、インドネシア人とベトナム人。食べ物もたくさんありました。おいしかったです。それから私はくじびきをしました。私はとてもラッキーでした。キョクさんのカメラをもらいました。とてもきれいです。日本で日本の美しい土場所の写真もたくさん撮りました。そしてベトナムへ帰ったとき、家の方角に見せました。とてもうれしいです。どうもありがとうございました。  
ケン チン フン

## あじけん流日本語授業 ～掲示物教材の活用～



標識の掲示物で危険用語（漢字表記）の読みと意味を導入

本校のように初級日本語の学習者に対して、直説法（学習者の母語を使用しない指導法）で日本語を教授する場合、単語や熟語の意味を、日本語で説明しても、初級レベルの学習者には、なかなか理解してもらえず、かえって混乱を招いてしまうことがあります。そこで、役に立つのが絵カードや写真等の掲示教材です。今回は、特に非漢字圏の実習生の皆さんにとって難易度の高い「危険用語」の導入時を例にとって、掲示物教材の活用例をご紹介します。掲示物は、簡単に取り外しが出来るので、「～とって!」「～かたづけて!」等、実習生が、「て形」での指示に動作で応じる練習にも、無理なく応用出来るので、本校では、多くの言語材料の導入時に、積極的に活用されています。

